

納税に対する意識を 変えられたときの 強い、達成感

▷ 現在の業務内容

徴収部門では、定められた期限までに納税がない方を対象に、個々の事情を考慮した分割納付の相談を行っています。しかし、納税に誠意があると認められない、故意に財産を隠している滞納者に対しては、財産調査の上、差押えなどの滞納処分を行い、税金を徴収します。

期限内納付をしている納税者との公平性を保つために強力な権限が与えられており、強い責任感が求められます。



▷ 志望動機

小学生の頃、税務署の職場見学に参加しました。税金クイズやビデオの視聴を通して、身近な公共施設や道路など意識していなかったところに税金が使われていることを学び強く印象に残りました。

その後、税務職員の具体的な仕事の内容を知り、見学した時の職場の雰囲気が良かったことや税務職員の仕事の専門性とやりがいに魅力を感じ、税務職員を志望しました。

◆ 先輩の1日

- 8:30 出勤・メールチェック
- 9:00 署を出発
- 10:00 滞納者の自宅へ臨場
(約4~7件)
- 12:15 昼食
- 13:00 帰署・報告
～出張内容の記録作成
- 14:00 催告・内部処理
～財産調査や猶予処理
- 16:30 翌日の出張準備
- 17:00 退庁



▷ 苦労したこと

私が税務署へ配置された 2020 年 4 月は、ちょうど新型コロナウイルス感染症の流行が始まった時期であったため、変化していく情勢に対応する必要があり、税金の納税方法や猶予制度について勉強し納付相談・滞納整理を行うことに苦労しました。

執務参考資料や先輩や上司からのサポートがあり、様々な状況に対し柔軟な姿勢で対応することを学び、乗り越えることができました。



▷ やりがい、魅力

徴収職員として納税に対して誠意が乏しい納税者と納付相談を行い、納税に対する意識を変え、完納まで導くことができたときに強い達成感があります。

また、普段関わることのない様々な業種の方と、納付相談や滞納処分を通して関わることができるため、自身の知識を深めることができるのも魅力のひとつです。



勉強や対応が困難な時もありますが、達成感も味わえる楽しい職場です！